

## 第4回クリーンセンター連絡協議会 要点録

【日 時】令和元年6月22日(土) 午後4時～午後5時10分

【場 所】東部会館 会議室1・2

【出席者】

会 長：新石自治会

委 員：新石自治会 2名 新井自治会 2名 落川上自治会 2名  
百草園団地自治会 2名

事務局：日野市 8名（環境共生部長、クリーンセンター長、環境共生部参事、  
ごみゼロ推進課長、施設課長、施設課主幹、ごみゼロ推  
進課課長補佐、施設課課長補佐）

国分寺市 1名（建設環境部長）

小金井市 1名（環境部長）

浅川清流環境組合 4名（事務局長、事業課長、総務課長、総務課主幹）

【傍聴者】4名

【配付資料】

- ・次第 「第4回クリーンセンター連絡協議会 次第」
- ・資料1 「プラスチック類資源化施設の工事状況」
- ・資料2 「新可燃ごみ処理施設の工事状況」
- ・資料3 「環境定点測定（令和元年度 夏季測定）」
- ・資料4 「公害防止情報表示盤の設置について」

【次 第】

1 開会

2 委員紹介、事務局紹介

自治会役員に変更があり、また、百草園団地自治会が新たにクリーンセンター連絡協議会へ加わった。事務局職員にも人事異動があったため、それぞれ自己紹介を行った。

3 議事

(1) 日野市

①プラスチック類資源化施設の工事状況

<説明内容>

日野市から資料1に基づき説明を行った。

- ・2020年度の本格稼働に向けて工事を進めている。
- ・工事全体の進捗率は6月末現在で50パーセント。
- ・工事は順調に進んでいる。

<質疑・応答>

なし

(2) 浅川清流環境組合

- ①新可燃ごみ処理施設の工事状況
- ②環境定点測定について
- ③公害防止情報表示設備の設置位置について

<説明内容>

①新可燃ごみ処理施設の工事状況

浅川清流環境組合から資料2に基づき説明を行った。

- ・令和元年6月17日現在の建設工事の状況を浅川側上空からの写真と多摩川側上空からの写真を示しながら説明。
- ・工事の進捗率は、5月末時点で約60%程度。工事は順調に進んでいる。
- ・鉄骨の組立工事やボイラー等のプラント設備の組立工事を同時並行で進めている。
- ・鉄骨の組立てを目的とする夜間工事は、6月末までで終了し、今後は、蒸気復水器の鉄骨やランプウェイの鉄骨の組立作業、アスファルト防水作業、タワークレーン解体を行っていく。
- ・工事の騒音は、現在、浅川対岸60dB程度であり、6月21日は55dB程度。
- ・工事の作業時間について説明を行った。狭小敷地における安全作業の実施及び工事周辺地域への配慮のため、クレーンを使った資機材の搬入作業等は午前7時以降に開始。残業がある場合にはお知らせ看板に表示をし、建物外部の工事の残業は午後9時までとする。クレーンを使った作業も午後9時までとする。

②環境定点測定について

浅川清流環境組合から資料3に基づき説明を行った。

- ・環境定点測定とは、環境影響評価とは別に可燃ごみ処理施設の運転時及び停止時に測定を行い、それぞれの結果の差を確認・比較することを目的に実施するもので、大気質、悪臭、土壌（ダイオキシン類）を測定している。
- ・平成29年度より開始し、夏と冬の年2回の測定を実施している。
- ・本年度の夏季測定を5月29日に既存施設運転時、6月4日に停止時の測定を実施した。
- ・結果については、現在、取りまとめ中。結果がまとまり次第、お知らせする予定。

③公害防止情報表示設備の設置位置について

浅川清流環境組合から資料4に基づき説明を行った。

- ・公害防止情報表示盤とは、運転時における公害防止情報を発信していくために設置するもので、今回は新井公園、新井わかたけ公園、落川交流センターに設置する位置について、それぞれ説明。
- ・3か所それぞれ、航空写真及び表示盤の合成写真を使用しての設置イメージを示しながら説明。いずれもいたずら防止柵を施しながら設置するよう検討している。
- ・表示盤の表示内容については、ばいじん、硫黄酸化物、窒素酸化物、塩化水素、水銀、ダイオキシン類というような項目を表示する。ダイオキシン類については、測定日の日付を入れて表示、その他は毎時間ごとの平均測定値を表示する。
- ・表示内容は、新施設内の表示盤のほか、ただいま説明した3か所及びホームページでお知らせする予定。

#### <質疑・応答>

(委員)：煙突の工事はこれで完成か。

(組合)：コンクリートの躯体部分は、84mで完成、後は、煙突本体の鋼製部分の組立てを行っていて、その部分はさらに1m高くなる。

(委員)：公害防止情報の表示は、ウェブ上で過去のデータもわかるような方法で掲載してほしい。

(組合)：持ち帰って検討させていただく。

(委員)：プラスチック類資源化施設には煙突はないのか。

(日野市)：プラスチックを中間処理として分類するので、燃やすわけではない。煙突はない。

#### 4 その他

(日野市)：前回の協議会で、30年後の「次期施設」の設置場所の検討状況についての質問があったが、保留となっていたので、その後の検討状況について、国分寺市、小金井市からご報告いただきたい。

(国分寺市)：国分寺市としては、現段階では覚書に基づき「稼働後、適切な時期に構成団体の3市で協議していく」ということしかお答えできないので、具体的に示せるような内容は現段階ではない。しかしながら、与えられた役割、責務はしっかり果たしていかなければいけないという認識を強く持っている。

(小金井市)：来年4月からの本格稼働を迎えられるのは日野市の住民の皆さまのご理解とご協力のおかげだと深く感謝している。

小金井市としても3市で締結した、3市の約束事である覚書に沿ってやっていくことが大前提だと思っている。資料やスケジュールが提示できないのは大変申し訳ない。

<質疑・応答>

- (委員) : 具体的なことを示せないのは承知しているが、いつから協議をはじめるといふロードマップのようなもの、時期的なものを示すことはできないのか。
- (日野市) : 3市の覚書のとおり協議を進めていかなければならない。稼働後、適切な時期というのは、稼働後速やかに、すぐにと認識している。
- (委員) : 稼働後、速やかにというのは、どういう時期か文書で示してほしい。
- (小金井市) : 適切な時期については、できるだけ早い時期に示していきたい。
- (委員) : 国分寺市や小金井市で建設できる場所があるのか。今回の共同処理を選んだ理由としては、場所がないということで選んだということもあるだろう。我々の約束としても日野市にはもう作らないということである。早く次期建設場所の協議を進めてほしい。
- (国分寺市) : 国分寺市で建設場所があるのかと問われると現時点でお答えするのは難しい。覚書には適切な時期となっているが、なるべく早く、3市で協議を進めていきたいと考えている。
- (小金井市) : 二枚橋焼却場に建設できないこととなり、窮地に陥った時に助けていただいたのが日野市だということは十分承知しているし、感謝している。このことを忘れずに覚書を遵守しながら3市で協議を進めていきたいと考えている。
- (委員) : もともとは、小金井市が建設できないとなったことに端を発して、日野市と共同処理をする案が浮上し、今日に至っているのだから、そのことを思いながら今後の協議をお願いします。
- (委員) : 国分寺市や小金井市だけでなく日野市も一緒になって、ぜひ協議を進めていってもらいたい。
- (委員) : 一番責任があるのは日野市だ。どういう方向にもっていくのか明確にしてもらわないと困る。公害が発生した時に誰が責任を取るのか、その時に重くのしかかってくる。地域が安心するものを作ってほしい。
- (委員) : この施設を作るにも稼働まで5、6年かかる。実際に場所をある程度絞って周辺の人々にお願いするのに相当な年数がかかる。お願いするためにはいかにごみ減量をしてきたかがないと住民は納得しないのではないかと。ごみ減量政策も含めて総合的に考えながら、ぜひ進めていただきたい。
- (日野市) : プラスチック類資源化施設の稼働により、プラスチックの資源化を進め、第2次ごみ改革としてごみ減量を進めていきたい。
- (委員) : ごみの減量は一自治体だけでは、限界がある。東京都や国とも連携していく必要があると思われるが、取組はどうか。
- (日野市) : 3市の中で減量化の連絡会などを作り協議を進めているので、一自

治体を超えた減量の取組を検討していきたい。

(委員)：国分寺市や小金井市の市民は日野市での共同処理についてどう思っているのか。

(国分寺市)：国分寺市では共同処理について行政からも広く広報しているし、覚書についてもホームページ等でお知らせしている。市民にごみ減量の意識をしっかりと持っていただき日野市にはできる限りご迷惑をかけないようにやっていく必要があると市民も理解していただいていると思っている。

(小金井市)：小金井市でも共同処理については、広く広報しているし、30年後を含めて市民に周知している。市長も様々な市民の会合で日野市のことを話しながら、ごみ減量に努めていただきたいと市長自ら率先してお伝えしている。

(委員)：国分寺市、小金井市の市民の方々にも新施設ができた暁には施設を見学していただきたいし、そのことによって、ごみ処理施設のことをさらに知っていただきたいと思う。

(委員)：施設の名称については、どうなっているのか。

(組合)：施設の名称については、正式な名称として「浅川清流環境組合 可燃ごみ処理施設」という名称を予定している。公的な手続きで使用するような名称になるので、組合の方で決めていきたいと考えている。

(委員)：災害時などの非常時の対応について、説明会を実施してほしい。

(組合)：持ち帰って検討する。新可燃ごみ処理施設運営基準検討委員会でも伝えたが、新施設へのご質問やご意見への対応は、まずはこのクリーンセンター連絡協議会を通じて行いたいと考えている。

#### <事務局より連絡>

- ・次回の会議の予定は9月25日(水)午後7時から、会場は日野市東部会館会議室1・2を予定している。

#### 4 閉会

以上